

# 外来診療の案内

診療受付時間：初診 8:30~10:30 再診 8:30~11:00まで

令和2年4月改訂



診療科		月	火	水	木	金
内科 (午前)		豊留 孝史郎	豊留 孝史郎	吉嶺 光太郎	吉嶺 光太郎	豊留 孝史郎
	リウマチ・膠原病外来 (終日)				駿河 幸男	
	糖尿病外来 (終日)			福重 恵利子		
	肝臓外来 (終日)			長谷川 将 (第2、4週)		
	生活習慣病 予防健診・ドック		小寺 顕一		宇都 寛高	宇都 寛高
呼吸器内科 (午前)		田中 修也	田中 修也	田中 修也	田中 修也	田中 修也
呼吸器外科 (午前)			武田 亜矢 (第2・4週)			
循環器内科 (終日)		小寺 顕一	小寺 顕一 (午後)			小寺 顕一 (午前)
			川崎 大輔		川崎 大輔	川崎 大輔
脳神経内科	午前	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志	有村 仁志
	午後		もの忘れ認知症外来	脳ドック		
外科	午前	加藤 健司	加藤 健司	加藤 健司	手術	加藤 健司
		末永 勝士	末永 勝士	末永 勝士	手術	末永 勝士
脳神経外科						鹿天応 援医師 (第2、4週)
小児科	午前	福重 寿郎	福重 寿郎	福重 寿郎	福重 寿郎	福重 寿郎
		中野 緩奈	中野 緩奈	中野 緩奈	中野 緩奈	中野 緩奈
		有村 萌	有村 萌	有村 萌	有村 萌	有村 萌
	午後	初診・再診受付 14時~16時		健診・予防接種 13時30分~15時 初診・再診受付 15時~16時	初診・再診受付 14時~16時 心エコー検査	
放射線科 (読影のみ)			応援医師 (終日)			応援医師 (午前)
腹部エコー	午前		検査室	検査室		検査室
心エコー		川崎 大輔 (終日)	小寺 顕一 (午前)		小寺 顕一 (午前)	
頸部エコー					放射線科 (午後)	有村 仁志 (午後)
シンチ	終日	脳血流シンチ	骨シンチ	心筋シンチ	腫瘍シンチ/骨シンチ	脳血流シンチ
内視鏡	午前/上部消化管		末永 勝士 吉嶺 光太郎		豊留 孝史郎	末永 勝士 吉嶺 光太郎
	午後/下部消化管	豊留 孝史郎	重田 浩一朗 脇 黒薫		豊留 孝史郎	
気管支鏡	午後			田中 修也		
CT・MRI	終日	終日	終日	終日	終日	終日

## さざんか

### 県立北薩病院だより

## 第197号

## 7月

## 新型コロナウイルスにかからない・うつさない ~コロナにかからないための手洗いをマスターしよう~

新型コロナウイルスの拡大を防ぐためには、厚生労働省が提示している、「新しい生活様式」をうまく日常生活に取り入れていくことが重要です。**「3密」を回避(密集・密接・密閉)**し、感染対策の基本となる、正しい手洗いや効果的なマスクの使用が出来るようにしましょう。

新型コロナウイルスの主な感染経路は、飛沫感染・接触感染といわれています。**手洗いをしていてもタイミングが悪いと感染してしまいます。**特に、目・鼻・口の粘膜から感染することがあるので外出中に不用意に顔を触らないようにしましょう。適切なタイミングで手洗いが出来るようにしましょう。

新型コロナウイルスの感染経路として  
飛沫感染のほか、**接触感染**に注意が必要です。

人は、“無意識に”顔を触っています!

そのうち、目、鼻、口などの**粘膜**は、  
約**44パーセント**を占めています!

### 手洗いの、5つのタイミング

公共の場所から  
帰った時

咳やくしゃみ、  
鼻をかんだ時

ご飯を食べる時

前後!

病気の人  
のケアをした時

外にあるものに  
触った時

### ①手洗い 正しい手の洗い方

手洗いの前に、爪は短く切っておきましょう。時計や指輪は外しておきましょう。

①

流水でよく手をぬらした後、石けんをつけ、手のひらをよくこすります。

②

手の甲をのばすようにこすります。

③

指先・爪の間を念入りにこすります。

④

指の間を洗います。

⑤

親指と手のひらをねじり洗いします。

⑥

手首も忘れずに洗います。

石けんで洗い終わったら、十分に水で流し、清潔なタオルやペーパータオルでよく拭き取って乾かします。

●原則として小児科以外は予約制ですが、急患においては随時対応しておりますので、ご相談下さい。

〒895-2526

鹿児島県伊佐市大口宮人502-4

TEL 0995-22-8511(代)

FAX 0995-22-9397

Eメール hok-hos@pref.kagoshima.lg.jp

### 北薩病院の方針

1. 患者さんの満足、ご家族の安心を提供します。(医療の姿勢)
2. 急性期医療の実践と、より高い専門医療を追求します。(診療の特徴)
3. 地域の救急医療体制に、積極的に貢献します。(診療の特徴)
4. 地域の医療・福祉との連携を強め、これを支援します。(地域の支援)
5. 仕事を通して、喜びと生きがいを追求します。(医療人としての姿勢)

理念

慈愛

協調

前進



# 北薩病院 セクション紹介

## < 外来 >

文責:北薩病院 内科 吉嶺光太郎

# 熱中症シーズン到来!

今日は外来へお邪魔しました。

Q1:皆さんのお仕事の内容を教えてください。

どんな些細なことでもお聞かせください。

A1:患者さんが安心・安全に診療を受けられるように、診察前の問診や検査の介助・説明、採血・注射など医師の診療の補助を行っています。また、化学療法や糖尿病など患者さんに、日常生活の相談や指導を行っています。検診・予防接種・人間ドックや救急車で搬送された患者さんの対応も行っています。

やさしいな~



Q2:お仕事のやりがいや心掛けていることを教えてください。

A2:定期受診の際に元気な姿を見せてくださる時が一番うれしいです。心掛けていることは、長くお待ちせしないことと、誠意ある対応と笑顔です。患者さんが安心して診察を受け、北薩病院を受診して良かったと思っただけのように、真心を持って対応いたします。

準備 OK です



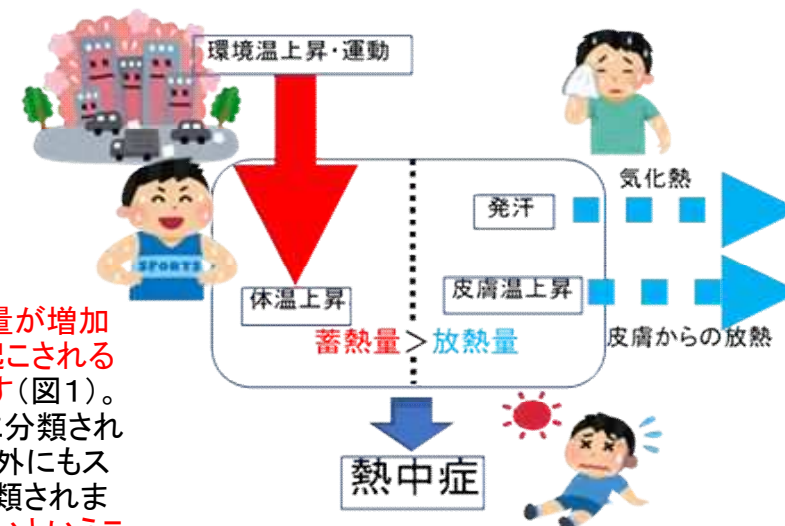
みんなが笑顔で  
ありますように!!

Q3:外来の皆さんから一言。

A3:新型コロナウイルス感染拡大により、皆さんの生活様式も変わったことと思います。収束までにはまだまだ時間がかかりそうです。コロナに負けないように、みんなで頑張っていきましょう。何かご相談がありましたら、いつでもお声かけ下さい。

外来スタッフです。どうぞよろしくお願いいたします。

段々と日中の気温も上がり、そろそろ夏真っ盛りといったところでしょうか。夏といえば熱中症に気をつけなければなりません。最悪の場合死に至ることもある熱中症、どのように防げば良いでしょうか。



・熱中症とは?

高温環境あるいは身体運動等により体の蓄熱量が増加して放射量が追いつかず、高体温に伴って引き起こされる全身の諸症状を総称して「熱中症」と呼んでいます(図1)。症状別に熱痙攣、熱失神、熱疲労、熱射病などに分類されますが、今回は割愛させていただきます。この分類以外にもスポーツや労働などに起因する労作性熱中症に分類されます。必ずしも屋外での活動時に起こるものではないということに注意が必要です。

・熱中症の症状

めまい、立ちくらみ、大量の発汗、筋肉痛、頭痛、嘔吐、倦怠感、虚脱感、集中力や判断力の低下等が見られます。



・熱中症のリスク

大きく分けると環境要因と人的要因に分けられます。  
 <環境要因>  
 高温多湿な居住・労働環境(例:風呂場、屋内作業場)  
 日差しが強い場所(例:工事現場、屋外)  
 風が弱い場所(例:体育館)

<人的要因>

身体障害や内分泌疾患による体温調節障害  
 高齢者や乳幼児、肥満、熱中症の既往  
 下痢や嘔吐等による脱水、食事摂取量や引水量の低下  
 睡眠不足、発汗低下を伴う皮膚障害、特定薬剤の内服

・予防方法

日中高温多湿となる場所や日差しの強い場所での活動はなるべく避け、脱水にならないようにこまめに水分摂取を行うことが肝要です。

・応急処置

- ① 涼しい環境への避難  
風通しの良い日陰やできればクーラーが効いている屋内などに避難させましょう。
- ② 脱衣と冷却  
上着を脱がせて身体からの熱の放散を助けます。ベルトやネクタイ、下着を緩めて風通しを良くします。冷水を体表に拭きかける方法も知られていますが、末梢血管が収縮し熱放散の効率が落ちてしまうこともあるため、常温の水を使用の方が良いでしょう。冷やしたペットボトル等を首の付け根や両脇、太腿の付け根など大きな血管が走行している部位に当てることも有効です。うちわやタオルで仰ぐことも有効です。
- ③ 水分・塩分の補給  
応答が明瞭で意識がはっきりしている場合は冷やした水分を口から与えてください。ただし吐き気を訴える場合や嘔吐してしまう場合は無理には飲ませず、早急に近医を受診してください。

※熱中症が疑われる場合は近くの医療機関を受診してください。

※厚生労働省の「熱中症予防のために」というサイトに対処方法がまとまっています。

<https://kanairodo/mhlw.go.jp/pdf/heatstroke.pdf>  
是非ご参照ください。

